

女子部中等科3年

「リモートでの広島・海山特別勉強」

星住リベカ 内藤優子

女子部中等科3年は10月27～29日の4日間に「平和と環境を考える」をテーマに広島・海山特別勉強を行った。これまで毎年広島・海山研修旅行として現地を訪れていた。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため旅行が中止となったため、リモートでの特別勉強を企画した。このリモートでの特別勉強ができた背景には、これまで現地でお世話になってきた広島友の会や海山の速水林業の速水亨氏の多大なご協力があった。研修旅行に出かける予定だった4日間を特別勉強の日とし、生徒が学校の校舎に集まり、自分たちでの発表、リモートによる広島原爆証言のお話、森林に関するオンライン授業、広島友の会の方々との交流の時間を持つなど、特別なプログラムで学ぶことができた。

I. 海山・広島研修旅行について

中等科3年の秋に、平和・環境をテーマに広島と海山を訪れる研修旅行を2011年から行ってきた。事前の調べ学習、実地での学び、事後のまとめを通し、社会を観る力を養い、視野を広げる学びを大切にしてきた。また、中等科3年間の節目の年として、教科横断的な学習を行い、高等科への学習へ繋げていく学びをしてきた。

広島では、原爆ドームや広島平和記念資料館の見学、語り部のお話を通し、世界で初めて原爆が投下された広島の歴史的事実とその歴史的背景や悲惨な被害について知ることを目的とした。日本や世界の深刻な現代の問題のひとつである核問題について、さまざまな角度から学び理解を深め、平和について考える時となってきた。

大久野島(広島県)は、瀬戸内海にある周囲4.3kmの島で、「地図から消された島」とされ、最高機密で1929年～終戦(1945年)まで日本軍によって毒ガス製造が行われた。日中戦争で日本軍は中国本土で毒ガスを使用したことがわかっている。また、製造に携わった従業員や学徒動員で手伝った人々などに多くの被害が出ている。加害の歴史を知る戦跡として、学園では2013年度から訪れている。

海山(三重県)は、自由学園最高学部が植林活動をしていた地域で自由学園とのつながりが深い。日本を代表する林業家である速水林業の山を訪ね、環境に配慮し自然と共存した森づくりを学ぶことを目的にしている。日本は、国土の約68%

が森林で、森林の保全は、木材資源、水源涵養、砂防の役割をなうほか、生物多様性の維持のためにも重要である。

現在の日本や世界で起きている林業問題へと関心を広げつつ、私達が地球の資源や自然をどのようにとらえ、つき合っていくかを考える学びをしてきた。

II. 2020年度研修旅行について

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、8月末に広島・海山研修旅行の中止が決定した。コロナ禍でも、研修旅行で企画していた学びをどのようにできるかを、担当者で話し合い、広島友の会、海山の速水亨氏(林業家)、の協力も得られることがわかり、東京の校舎にてリモートで「広島・海山特別勉強」として行うことにした。

9月上旬に、生徒のリーダーを決め、生徒の意見も取り入れながら、特別学習のプログラムを決定した。広島の平和記念資料館から生徒の調べ学習のために資料を取り寄せ、学習のしおりを作成した。

III. 事前学習について

1. 社会科の事前学習：担当 星住

大里知子先生(法政大学沖縄文化研究所)から、「何のために戦争の歴史を学ぶのか」をテーマに、世界の動きを見据えながら、戦争の歴史の捉え方を中心に、90分間の授業をしていただいた。

世界がグローバル化した時代からを概観しながら

ら、戦争へ向かう日本の状況について、スライドを使ってしっかりと教えていただいた。戦争を知らない世代へ、現代史を研究する先生から「歴史を学ぶ意義」を伝えていただく貴重な時間となった。

その他、紀伊半島、広島の地域についてと植木の資料を作成し、授業を行った。

2. 国語科事前学習：担当 内藤

・『知らなかった、ぼくらの戦争』アーサー・ビナード著

アメリカ人である著者が太平洋戦争について複数の日本人に取材し、まとめた本である。その中の一章「まだあげ初めし前髪の乙女たちは毒ガス島で働いていた」は研修旅行で予定されていた大久野島の動員体験であり、特に丁寧に取り上げて読み学んだ。

・『碑（いしづみ）』（広島テレビ放送編 松山善三構成）を読む。

原爆投下時、建物疎開のために爆心地近くに集合していた広島第2中学1年生321人全員が被爆し全滅した。321人がどのような経過を辿って亡くなったか、何を言い遺したかを具に調べ記録した本である。中等科1年の教科書に一部が掲載されており、その部分を中心に学び、被爆当時の様子を知った。

・原爆詩を読み学ぶ

広島研修旅行が始まった年に作成され、受け継いできた被爆詩の冊子「平和への祈りをこめて」の詩を読み、考え合った。

・映画鑑賞

『この世界の片隅に』（片渕須直監督 こうの文代原作）

広島（江波）、呉を舞台としたアニメーションで、戦時中の生活や広島暮らしを丹念に描いた映画である。戦争や原爆について理解を深めることができた。

3. 戦争についての調べ学習

夏休みに、国語科の宿題として戦争や原爆について各自でテーマを決めてレポートにまとめた。2学期にそのレポートを基に、10のテーマ（表1）を設定してグループに分かれ、学習を進めた。図書館のご協力のもと広島（原爆）に関する本を教室に別置き、自由に調べることがで

きるようにした。10月中旬からは、調べた内容をまとめ、スライドを作成した。広島・海山特別勉強1日目の午後にグループごとに発表する時間を設け、質問をし合う時間とした。

表1 調べ学習の組み分け

広島 調べ学習 組み分け (2020)	
主なテーマ	調べる内容など
1 広島市の歴史と特徴	海運 川と山 食（お好み焼き）
2 中島町について（平和公園）	当時の中島町と現在の平和記念公園について 平和大通り
3 原子爆弾について	原子爆弾の開発 マンハッタン計画
4 原子爆弾について 風船爆弾について	原子爆弾を投下する町をどのように選定したか
5 原子爆弾の被害	爆風 ピカドン
6 #	熱線 被爆の範囲
7 被爆症について	放射能の影響 黒い雨（戦後の差別 世代を超えて続く被害）
8 戦後の核実験について	世界各国の状況 現在の状況 核廃絶運動
9 『いしづみ』広島二中と平和公園の慰霊碑	『いしづみ』の本でほかに書かれている内容 慰霊碑がなぜあるか
10 大久野島について	大久野島で何が行われたのか

IV. 広島友の会による動画撮影

① 柳川良子さんの原爆体験の証言の動画撮影

毎年、原爆の証言をお願いしている柳川さんは、山中高等女学校4年生(16歳)で、学徒動員のため、創立したばかりの女子高等師範学校の事務手伝いとして、爆心地から1.5kmの校舎の1階にいた時に被爆された。2階建ての校舎は、原爆の風圧で倒壊。建物の下敷きになり、大怪我をした。一時は意識を失ったが、先生が呼びかける声に気づき、潰れた校舎の屋根の瓦が取り除けられたところから入ってきた光を一筋の希望として、よじ登って外に出ることができた。ガラスの破片が皮膚にたくさん刺さり、右肩の鎖骨が折れ、手の先が地面についていたのを包帯で止めてもらい、横川の自宅へ数人の生徒や先生と徒歩で避難した。その行程で、爆心地を通り、真っ黒に焦げた遺体など、この世とは思えない光景を目にした。一晚、友達の家泊めてもらい、翌日自宅跡で偶然兄と出会い、友人宅でいただいた杖をつきながらどうにか地御前の祖父母宅へ辿り着くことができた。

柳川さんには毎年、その壮絶な8月6日の体験を原爆の証言としてお話ししていただいていた。原爆による戦禍の酷さに心を揺さぶられ、平和

の大切さを強く感じるお話である。

私達は、柳川さんがご高齢であることを考え、今年のコロナ禍を機に、動画に残すことを決めた。「柳川良子さんの原爆証言を残す会」を女子部教師数名で立ち上げ、映画監督の瀧瀬あやさん「(株)やしほ映画社」に撮影と編集を依頼した。10月中旬に広島で撮影が行われた。広島友の会で車の手配や、撮影の手伝いなど協力して下さった。瀧瀬さんにより、当時の建物の様子や、学校の先生や柳川さんの写真も組み込んだ60分間の原爆証言の動画が完成した。



図1 証言をして下さった柳川良子さん

② 広島友の会による広島平和記念公園の碑巡りの動画

10月3日に広島友の会8名の方が一日かけて、広島平和記念公園の中にある多くの原爆慰霊碑の中から、主な慰霊碑など17カ所について、今回の自由学園中等科3年の特別勉強のために、解説入りの動画を撮影して下さった。撮影して下さった動画は、慰霊碑、原爆ドーム、公園の風景、川と橋など30ファイルにもなった。その動画を見易いように、70分間に編集した。

生徒にわかりやすいようにと、慰霊碑の写真撮影したスライドも作成して下さいました。



図2 碑巡りの動画を作成して下さいました方々

表2 広島・海山特別勉強プログラム

2020年度中等科3年 広島・海山特別勉強

	午前	午後
10/27 火	調べ学習のまとめ、発表準備 ・各グループで配布プリントを作成 ・パワーポイントのスライドを作成	グループごとの調べ学習の発表を聞き合う
10/28 水	10:30~11:45 柳川良子さんの被爆体験のお話(録画) 11:50~12:10 お話を伺って考えたことなどをまとめる。	学園内の碑を訪ねる 学園の戦中の歴史 卒業直後、広島で被爆死された23回生の吉岡さんについて
10/29 木	10:30~11:50 ・広島友の会の方が撮影して下さいました広島平和記念公園の碑巡りの映像を見て、平和について考える。 11:50~12:10 友の会の方とZoomで交流。	木の学びの事前学習 熊野古道と海山地域について学ぶ 熊野古道センター(Zoom未定)
10/30 金	10:00 本鈴「みらいかん」にて 礼拝 10:30~12:00 速水林業 速水亨さん 特別授業(Zoom)にて 教室 自由学園みらいかん	昼食から教室へ移動 4日間の特別授業の振り返り ワークシートの記入 提出

V. 10月27日(火)～10月30日(金)広島・海山特別勉強について

10月27日からの4日間は、生徒のリーダーと相談しながら内容を決め、オンラインの授業の組み込んだプログラムで特別授業を行った。

(表2)

① 10月27日

9月からのグループごとの調べ学習の内容について、午前中に最終的な発表準備をした。午後、各グループ10分間受け持ち発表した。それぞれのグループの発表について、興味を持って学ぶことができた。

② 10月28日午前

午前中に柳川さんの被爆証言のお話を聞く(動画)。お話の動画を見た後、グループごとに、考えたことなど共有する時間を持った。その後、広島友の会の方々にも Zoom オンラインで入っていただき、グループで話した感想を、グループごとに代表者が話し、広島友の会の方々と共有する時間を持った。

柳川さんのお話深く心を動かされた生徒たちは、音楽の授業で練習していた「いのちの歌(作詞：竹内まりあ、作曲：村松崇継)」を原爆で亡くなられた方への慰霊とお話して下さった柳川さんや友の会への感謝気持ちを込めて歌いたいと提案。歌詞を急遽黒板に書き、クラスがみんなで協力し、準備。心のこもった合唱ができた。

その後、映像担当の額瀨監督からも、柳川さんの撮影を通じて感じたことについてお話を伺った。

③ 10月28日午後

午後は、学校内や近くにある戦跡から学ぶ時間とした。(図3.4.)校内の図書館横にある戦時下に女子部生徒で学徒動員先の工場への移動中にバス事故で亡くなられた方々と空襲や原爆で亡くなられた方の慰霊碑と、男子部校舎の横にある男子部卒業生で、太平洋戦争で戦死された方々の慰霊碑をたずねた。また、学校のすぐ近くにある戦時下に引き込み線が敷設されていた遊歩道の「たての緑地」へ行き、西東京市にあった軍用機エン

ジンを製造していた中島飛行機株式会社の铸造部門の工場である中島航空金属製造所まで、物資を運んでいたことを学んだ。普段から通い慣れた道にも、戦争が関連していたことを知り、驚く生徒が多くいた。



図3 校内の慰霊碑を巡る



図4 女子部23回生の慰霊碑

④ 10月29日(木)

広島友の会の方が、この勉強のために撮影して下さった広島平和記念公園の慰霊の碑の動画を見て学ぶ。事前学習をしていたこともあり、資料を参考に、公園の全体像を捉えながら、慰霊碑の意義などを考えながら学ぶことができた。原爆ドームから始まり、平和の鐘、第一高女、原爆慰霊塔、原民喜の詩など動画を見た。動画を生徒たちは一生懸命に見ていた。一つ一つの慰霊碑に込められた思いを受け取ることができたように感じた。最後に、広島友の会の会場とオンラインで繋ぎ、友の会から20名近くの方がZoomで参加して下さり、生徒が感想を述べ、感謝の気持ちを直接、友の会の方に伝えることができた。友の会の方からも、撮影の際に感じたことを話していた

だき、広島と東京がつながった時間となった。

午後は、三重県海山地域の自然や地形について、木の学びとして、植林のこと、自由学園の植林地について、遠藤先生と星住が担当して学習した。



図5 教室での授業の様子

⑤ 10月30日（金）速水亨さんの特別授業

（速水亨氏：みえ森林・林業アカデミー特別顧問、速水林業代表、森林再生システム代表取締役）

30日の午前中は、建物に海山にある自由学園の植林の木材も使用している、自由学園みらい館2階を会場にして、速水林業の速水さんからZoomオンラインでの特別授業をしていただいた。「日本林業の未来」と題して、現在の日本の森林や、世界と比較した日本の材木事情、木材市場のことなどを、中3の生徒にわかりやすい解説でお話して下さった。実際のデータを基に、建築材としての木材の強度や環境にとっても優しい材料であることなど話され、とても興味深い学びであった。木材でビルを建てる計画も進んでいて、生徒の木材観が、この学びで変化したように思う。



図6 オンラインで速水さんのお話を聞く

海山の森の中を歩くことはできなかったが、お話の最後に、美しい森の映像をたくさん見せていただき、心が癒されるような時間であった。

VI. 広島・海山特別授業を終えて

現地へ行けない状況の中で、どのような学びができるか、模索しながらの日々であった。今までの旅行では、戦跡に実際に訪れることで、戦時に起きたことを想像することが容易であった。現地を見ながら、その景観や、空間の広さ、人の生活と結びつけ、五感で感じながら、戦時下で起きたことを自分の中で、位置付けることができていた。今回のリモートの学習で、そのような体験へどこまで迫ることができたのだろうか。

この4日間、現地へは行けなかったが、真剣に学ぶ生徒の姿があった。よく集中して、聞き、戦跡のことや森のことを知り、多くの内容を理解することができた時間であった。その中で、平和について環境について、一生懸命に考えていた。特別授業での学びを振り返るワークシートで、各生徒が、オンラインや動画を見て学んだことなどを丁寧に書いていた。その中で現地に行く意義を考えていた。多くの生徒が「コロナの感染症が静まったら、必ず広島のを訪れたい。」「実際に慰霊碑を見たい」と書いていた。広島での平和への思いや、海山での日本の森をめぐる環境について知り、そこに携わっている多くの人達の思いも知ったその上で、やはり、現地へ行きたいという思いが出てきたのだと思う。現地へ行く大切さを生徒自身が、強く気がついていることを感じた。現地へ行くことで、より立体的に物事を捉え、その場所の空気を感じることを生徒自身が大切に思っていることを知った。

ワークシートの感想からは、同じ内容を学んでも悲惨な戦争の記録の受け止め方は、生徒にとって様々であることがわかった。生徒がそれぞれの受け止め方で真剣に平和、環境について向き合う時間となっていた。中等科3年での平和や環境の学びは、これからの高等科での歴史や公民をはじめとする学びで、各自がどう活かしていくのが大切である。これからの学びを期待

したい。生徒が記入したワークシートを表 3～6 として載せた。

VII. 生徒の感想から

・私には曾祖母がいて、もう亡くなっていますが、戦中を生きた方でした。しかし私は、一度も戦争の話を知ることができませんでした。今まで本やインターネットや動画以外で、戦争中のことを知る事はありませんでした。今回柳川さんの話を聞き、自分の体が怪我をしたようになり、鳥肌が立ちました。当時のことを話す柳川さんを見て、本当に大変だったのだなと思いました。配給制の食材は少なく、お弁当も十分に食べることができなかったという事は、体験した人でなければわからない辛さだと感じました。「欲しがりません。勝つまでは」と言う言葉が心を重くさせるようで、今の日本とは違った別の国の話を聞いているようでした。

・原爆投下直後からのお話は、全てが衝撃的でした。まぶしすぎて前が見えない中、目の前にあった 2 階建ての建物が崩れて行くのが一瞬見えた後、明るかったはずの辺りが真っ暗で何も見えないようになってしまった。光が見えた瞬間、生きたくなったことを聞き、私はもしそうなった時に生きたいと思えるのかと考えてみましたが、答えは出ませんでした。その後、家の焼け跡を見て、もう死んでも良いと思ったところ、一緒に歩いてきた友達に立ち上がらせてもらって、友達の家で一晩休ませてもらったと聞き、原爆後どれだけ自分がボロボロでも、人と助け合っていたのだなと感じました。柳川さんが、最後に「一人一人が世の中をよくしようと思いがながら生活してほしい」とおっしゃってくださいました。この言葉を心に刻んで生活していきたいと思います。

・実際に被爆体験をされた方のお話を聞くのは初めてでした。一言で言うと信じられませんでした。本当にこの世で起こったことなのかと思ってしまうくらい残酷で、思わず耳を塞ぎたくなってしまうような話もありました。8 月 6 日、今まであったものが一瞬で無くなって、人もなくなって、あっちにもこっちにも死体が転がっていて、その話を聞いてもどうしても絵でしか想像できなくて今の日本からは考えられませんでした。いろいろ衝撃でした。

・山中高等女学校の話は本当に胸が痛みました。生徒も先生も大怪我をしている中、友達を抱きかかえたり下敷きになっている人助けたりできるのはすごいと思いました。柳川さんの先生の話は、少し感動しました。自分

が怪我をしていますが、生徒たちを助けに行こうと、行動できる強さやそんな状況でも生徒のことを一番に考えられる先生を尊敬しました。それと同時に原爆の悲惨さも伝わってきました。柳川さんの「もうこの世の光景ではなかった」という一言が忘れられません。本当に 75 年前の日本で起きたことなのか信じられないというのが今の私の感想です。原爆の悲惨さを痛感しました。

・頑張って歩いて帰って、やっと家の近くまで着いたときに、辺り一面焼け野原で何もなかったと聞き、もう二度とそんなことがあってはならないと思いました。きっと今の私より年下の子も、同い年の子も。年上の子も。本当にたくさんさんの友達が苦しんでなくなったのだろうと思います。本当に胸が痛いです。核兵器の怖さも改めて感じました。また、家族が未だにどこにいるのかわからないというのも、本当につらいことだと思いました。家族や友達、知り合いを失った苦しみは、ずっと消えないし、忘れないものだと思います。その残された方々の思いをしっかりと受けとめ、これからは私たちがその思いをつないでいく番です。柳川さんから話していただいたことを語り継いでいこうと思います。戦争の悲惨さも忘れず毎日に感謝しながら生きていきます。「この平和がいつまでも続いていきますように」この柳川さんの言葉を心に留めて生活したいです。

・今回、現地行けなかったのはとても残念でしたが、動画を通して実際に行った気分になりました。広島市立第一女学校の慰霊碑について説明を聞いた時、なぜか涙が出てきました。私より幼い子達がたった一発の爆弾で人生を奪われてしまったと考えるだけで辛くなりました。しかも、一瞬のうちにして命を踏みにじられ、まるで雪がとけるかのように亡くなられました。亡くなった方を数で見がちですが、碑には、一人ひとりの名前が丁寧に刻まれていて、その人にも私のように家族や友と過ごした時間があつたと思います。いつか広島へ行って碑も刻まれた名前をきちんと拝見して、お祈りにいきたいです。

そして今回初めて広島街を見ました。思っていたよりも穏やかで人々が賑わい、川がきれいな街でした。原爆で地獄と化した土地とはとても思えませんでした。この学びを次の世代に伝えていきたいです。

・友の会の方が私たちのために撮影して下さっただけあり、とても温かみを感じられる動画でした。丁寧な説明で原爆のことを話されていると、より一層、広島に行って勉強したかったなと思ってきました。平和公園の碑も一つ一つ同じ意味のものではなく、色々な思いを込めて

作られたのだと思うと、とても興味深かったです。このような時期であるのに、動画を撮ってくださった広島友の会の方々に、感謝の気持ちを少しでも伝えたいと思いました。

・平和記念公園には、たくさんの碑がありますが、印象に残ったのは原爆供養塔です。初めて知りました。いまだに身元がわからない方や、名前がわかっても遺族がいない方がたくさんいることに驚きました。碑に名前を残しているものが多く、一人一人の思いを継いでいると思いました。私は、広島に以前に行ったことがあるのですが、しっかりした知識があってから見るのでは、全く学ぶことが違うなと思いました。今度また行ってみたいです。

・碑巡りの動画を見て、戦争は絶対に繰り返してはならないものと言うことを改めて痛感させられました。今まで私は原爆に着いてあまり関心がなく、平和な時代に生きている私たちには関係のないことだと考えていました。しかし広島の学習を進めているうちに、自分たちの祖父母の世代が、自分とさほど変わらない年齢で、非常に恐ろしく悲惨な経験をしていたのだと言うことに気がつきました。今私達は、あたりまえのように毎日学校へ通い、何不自由がない生活ができていますが、当時の子供たちにとっては、それすらも許されなかったのだと思うと心が痛みます。碑には、当時の思いや戦争の悲しさが込められていて、当時の子供達や大人のためにも、戦争を絶対に忘れてはいけなく強く思いました。戦争の大変さを数ばかり見てしまいがちですが、一人ひとりにそれぞれの人生があり、過酷な時代を必死に生きていたということ、忘れてはならないのだと感じました。

VIII. 終わりに

生徒達は、旅行で広島や海山へ行くことを楽しみにしていた。しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大で、旅行へ行けず、リモートによる特別勉強となった。生徒の気持ちやモチベーションを心配していたが、事前学習を進める中で、旅行へ行けないという前代未聞のコロナ禍の事態をしっかり受け止め、この特別勉強でしっかり学ぼうと思う気持ちがだんだんと高まっていくことが伝わってきた。その背景には、広

島友の会の人達など自分たちの学習を支えてくれようとしている人が多くの人がいることを知ったことが大きかったと思う。その方々への感謝の気持ちが常にあった。その思いが溢れて、計画にはなかった「いのちの歌」の合唱があったのだと思う。広島友の会や海山の速水さんのご協力には、感謝の思いでいっぱいである。

2020年3月に緊急事態宣言が発令され、自由学園では、4月からリモートによる授業を行ってきた。Zoomを使ったオンライン授業や、Google classroomを使った授業展開をしてきた。その方法も今回の特別授業では、存分に活かすことができた。

今年は、広島・海山研修旅行が始まって10年の節目の年であった。コロナ禍で、この研修旅行の意義や生徒がこの学習を通して学ぶことは何かなど改めて考える機会となったことに感謝したい。

謝辞

柳川良子さんは、生徒のために「平和の大切さを後世へ伝えていく」との思いを込めて原爆の証言をしてくださった。その証言を映画監督の瀬瀬あやさんが、広島へ行き、動画撮影と編集を担当して下さいました。広島友の会の神安豊江さんをはじめとする友の会会員の方々には、広島原爆碑を巡り、1日かけて動画撮影をして下さいました。また、柳川さんの証言の撮影時にもご協力いただいた。

図書館の方には、資料に関するアドバイスをいただくと共に、広島に関する多くの本を中3教室に設置することに協力いただいた。

速水亨氏には、林業をめぐる世界の最前線の話題を豊富に取り入れながら、素晴らしい映像を見せてくださりながら、お話をしてくださった。フリージャーナリスト前屋敷氏には、Yahooニュースにこの特別授業を取材し、載せてくださった。

この特別勉強のために、私達を温かく支えてくださった皆さんへ心からの感謝を申し上げます。

《参考文献》

- ・ 広島平和研究所ほか(2019)『ヒロシマへの旅 平和学習のしおり』広島平和教育研究所
- ・ 森田俊男(監修) 平和国際教育研究会(2008)『広島修学旅行ハンドブック』平和文化
- ・ 那須正幹ほか(2010)『絵でよむ 広島原爆 かがくのほん』福音館書店
- ・ 葉佐井博巳ほか監修(2019)『図録 ヒロシマを世界に』広島平和資料館
- ・ 『新編 峠三吉原爆詩集』(2008)青木書店
- ・ 『詩集 にんげんをかえせ』(2002)新日本出版社
- ・ 澤野重男ほか(2011)『観光コースでない広島ー被害と加害の歴史の現場を歩く』高文研
- ・ ニュースなるほど塾(2011)『核兵器と原子力』河出書房新社 夢文庫
- ・ アーサー・ピナード著(2017)『知らなかった、ぼくらの戦争』
- ・ 広島テレビ放送編・松山善三構成(1970)『いしぶみ〈碑〉ー広島二中一年生全滅の記録ー』
- ・ 合同出版(2008)『原爆詩集 八月』
- ・ 東久留米市歴史ライブラリー1『東久留米の戦争遺跡』(2019) 東久留米市教育委員会
- ・ 『自由学園80年小史』(2001) 自由学園出版局
- ・ 自由学園女子部卒業生会『自由学園の歴史II ー自由学園の記録1934年～1958年』(1991) 婦人之友社
- ・ 牛田守彦・高柳昌久(2006)『戦争の記憶を武蔵野にたずねて』ぶんしん出版
- ・ 吉見善明(2004)『毒ガス戦と日本軍』 岩波書店
- ・ 岡田黎子(2013)『絵で語る子供たちの太平洋戦争』文芸社
- ・ <https://news.yahoo.co.jp/byline/maeyatsuyoshi/20201119-00208659>

表3 ワークシート

2020年度 広島・海山特別勉強 氏名(村山 京)	2020年度 広島・海山特別勉強 氏名(村山 京)																				
<p>2020.10.30(金) 速水さんのお話について、以下の観点から2つ選びまわめましよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能な森林管理と木材利用とは、どのような取り組みか。 2. 森林の価値について 3. 日本の木材利用について 日本の林業と木材の輸入 4. 速水林業での取り組み FSC森林認証について <p>書き(2)</p> <p>世界の森林は20年間で減少していき、天然物はとて減少してしまつたため、人は木材を伐採しています。CO₂の量を減らすと、木材CO₂を固定することであるため、炭素を貯蔵して取り返していき、環境のためにも良い森林が作り出されます。</p> <p>書き(3)</p> <p>日本の木材生産を上げるための木材は、FSCの補助金を出しているが、その木材の価格が下がります。</p> <p>日本の林業活動は取組んでいますが、若い働き手が減っています。</p> <p>木材は、自然が作り出した木材を輸入していることもあります。</p> <p>4日間を振り返って 思っていた言葉(短文)を書き、なぜそのキーワードを思いついたのか、自分の心と向き合ったことを書いてみましょう。</p> <p>広島・大久野島について</p> <p>思っていた言葉(短文)</p> <p>駆け込み症、想像できない</p> <p>私は一度、大久野島に旅行した時、兵隊の足跡がどこか残っていることを知り、驚いて、お話を聞いて、今も私の心には想像できない、大切な思い出を残しました。</p> <p>海山について</p> <p>思っていた言葉(短文)</p> <p>無知の悪事</p> <p>日本で使われている木材の中には違法伐採による木材が使われていることがあり、それは怖いことを聞いて驚きました。</p> <p>日本が木材を輸入しているのは、日本が木材を産んでいないからなのだと思います。</p>	<p>2020.10.27(火) グループ発表について</p> <p>学んだこと・考えたこと</p> <table border="1"> <tr> <td>1 メンバー 広島市の歴史と特徴</td> <td>おみやげの島、広島(アリアケの島)という呼び名を聞いた。</td> </tr> <tr> <td>2 メンバー 結野・鈴木・西角</td> <td>広島市は1868年に開港(開港場)した。</td> </tr> <tr> <td>3 メンバー 中島町について(平和公園)</td> <td>平和公園は、戦争がなかったら、公園になっていた。</td> </tr> <tr> <td>4 メンバー 原子爆弾について</td> <td>30日に爆撃されたため、多くの犠牲者が出た。</td> </tr> <tr> <td>5 メンバー 風船爆弾について</td> <td>一晩中に広島に多くの爆弾が落ちた。</td> </tr> <tr> <td>6 メンバー 原子爆弾の被害 爆風</td> <td>爆風が強いので、多くの人が亡くなった。</td> </tr> <tr> <td>7 メンバー 原子爆弾の被害 熱線</td> <td>熱線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。</td> </tr> <tr> <td>8 メンバー 原子爆弾の被害 放射線</td> <td>放射線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。</td> </tr> <tr> <td>9 メンバー 広島・尾島・助産所</td> <td>広島は、戦争がなかったら、平和な町になっていた。</td> </tr> <tr> <td>10 メンバー 大久野島について</td> <td>大久野島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。</td> </tr> </table>	1 メンバー 広島市の歴史と特徴	おみやげの島、広島(アリアケの島)という呼び名を聞いた。	2 メンバー 結野・鈴木・西角	広島市は1868年に開港(開港場)した。	3 メンバー 中島町について(平和公園)	平和公園は、戦争がなかったら、公園になっていた。	4 メンバー 原子爆弾について	30日に爆撃されたため、多くの犠牲者が出た。	5 メンバー 風船爆弾について	一晩中に広島に多くの爆弾が落ちた。	6 メンバー 原子爆弾の被害 爆風	爆風が強いので、多くの人が亡くなった。	7 メンバー 原子爆弾の被害 熱線	熱線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。	8 メンバー 原子爆弾の被害 放射線	放射線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。	9 メンバー 広島・尾島・助産所	広島は、戦争がなかったら、平和な町になっていた。	10 メンバー 大久野島について	大久野島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。
1 メンバー 広島市の歴史と特徴	おみやげの島、広島(アリアケの島)という呼び名を聞いた。																				
2 メンバー 結野・鈴木・西角	広島市は1868年に開港(開港場)した。																				
3 メンバー 中島町について(平和公園)	平和公園は、戦争がなかったら、公園になっていた。																				
4 メンバー 原子爆弾について	30日に爆撃されたため、多くの犠牲者が出た。																				
5 メンバー 風船爆弾について	一晩中に広島に多くの爆弾が落ちた。																				
6 メンバー 原子爆弾の被害 爆風	爆風が強いので、多くの人が亡くなった。																				
7 メンバー 原子爆弾の被害 熱線	熱線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。																				
8 メンバー 原子爆弾の被害 放射線	放射線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。																				
9 メンバー 広島・尾島・助産所	広島は、戦争がなかったら、平和な町になっていた。																				
10 メンバー 大久野島について	大久野島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。																				

表4 ワークシート

2020年度 広島・海山特別勉強 氏名()	2020年度 広島・海山特別勉強 氏名(岡田 花蓮)																				
<p>2020.10.30(金) 速水さんのお話について、以下の観点から2つ選びまわめましよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能な森林管理と木材利用とは、どのような取り組みか。 2. 森林の価値について 3. 日本の木材利用について 日本の林業と木材の輸入 4. 速水林業での取り組み FSC森林認証について <p>書き(2)</p> <p>森林はCO₂の貯蔵庫になる。つまり、育て、売却等に使うことで、地球温暖化対策に貢献できる。</p> <p>書き(3)</p> <p>日本の木材は年々値が下がりがつづけている。日本は国土が270万haある中で森林が250万haある。しかし、大量の木材を輸入している。その上、違法伐採の木材も輸入している可能性がある。</p> <p>4日間を振り返って 思っていた言葉(短文)を書き、なぜそのキーワードを思いついたのか、自分の心と向き合ったことを書いてみましょう。</p> <p>広島・大久野島について</p> <p>思っていた言葉(短文)</p> <p>原爆はたくさんの方が何も住まない</p> <p>私は一度、はだしのゲンという本を読みました。その時、とても感動して、涙が止まらなくなりました。そして、大切な思い出を残しました。</p> <p>海山について</p> <p>思っていた言葉(短文)</p> <p>地球の命を守る森林</p> <p>私は木が好きで、木が大好きです。今日のお話を通して、木が大切だと気づきました。木が地球の命を守るために大切な役割を担っていることを学びました。</p>	<p>2020.10.27(火) グループ発表について</p> <p>学んだこと・考えたこと</p> <table border="1"> <tr> <td>1 メンバー 広島市の歴史と特徴</td> <td>おみやげの島、広島(アリアケの島)という呼び名を聞いた。広島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。</td> </tr> <tr> <td>2 メンバー 結野・鈴木・西角</td> <td>広島市は1868年に開港(開港場)した。</td> </tr> <tr> <td>3 メンバー 中島町について(平和公園)</td> <td>平和公園は、戦争がなかったら、公園になっていた。</td> </tr> <tr> <td>4 メンバー 原子爆弾について</td> <td>30日に爆撃されたため、多くの犠牲者が出た。</td> </tr> <tr> <td>5 メンバー 風船爆弾について</td> <td>一晩中に広島に多くの爆弾が落ちた。</td> </tr> <tr> <td>6 メンバー 原子爆弾の被害 爆風</td> <td>爆風が強いので、多くの人が亡くなった。</td> </tr> <tr> <td>7 メンバー 原子爆弾の被害 熱線</td> <td>熱線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。</td> </tr> <tr> <td>8 メンバー 原子爆弾の被害 放射線</td> <td>放射線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。</td> </tr> <tr> <td>9 メンバー 広島・尾島・助産所</td> <td>広島は、戦争がなかったら、平和な町になっていた。</td> </tr> <tr> <td>10 メンバー 大久野島について</td> <td>大久野島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。</td> </tr> </table>	1 メンバー 広島市の歴史と特徴	おみやげの島、広島(アリアケの島)という呼び名を聞いた。広島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。	2 メンバー 結野・鈴木・西角	広島市は1868年に開港(開港場)した。	3 メンバー 中島町について(平和公園)	平和公園は、戦争がなかったら、公園になっていた。	4 メンバー 原子爆弾について	30日に爆撃されたため、多くの犠牲者が出た。	5 メンバー 風船爆弾について	一晩中に広島に多くの爆弾が落ちた。	6 メンバー 原子爆弾の被害 爆風	爆風が強いので、多くの人が亡くなった。	7 メンバー 原子爆弾の被害 熱線	熱線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。	8 メンバー 原子爆弾の被害 放射線	放射線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。	9 メンバー 広島・尾島・助産所	広島は、戦争がなかったら、平和な町になっていた。	10 メンバー 大久野島について	大久野島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。
1 メンバー 広島市の歴史と特徴	おみやげの島、広島(アリアケの島)という呼び名を聞いた。広島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。																				
2 メンバー 結野・鈴木・西角	広島市は1868年に開港(開港場)した。																				
3 メンバー 中島町について(平和公園)	平和公園は、戦争がなかったら、公園になっていた。																				
4 メンバー 原子爆弾について	30日に爆撃されたため、多くの犠牲者が出た。																				
5 メンバー 風船爆弾について	一晩中に広島に多くの爆弾が落ちた。																				
6 メンバー 原子爆弾の被害 爆風	爆風が強いので、多くの人が亡くなった。																				
7 メンバー 原子爆弾の被害 熱線	熱線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。																				
8 メンバー 原子爆弾の被害 放射線	放射線は、放射線によるもので、多くの人が亡くなった。																				
9 メンバー 広島・尾島・助産所	広島は、戦争がなかったら、平和な町になっていた。																				
10 メンバー 大久野島について	大久野島は、戦争がなかったら、平和な島になっていた。																				

表5 ワークシート

2020 年 中等科 3 年 広島・海山特別勉強を終えて 考えたこと言葉など	
広島・大久野島について	海山について
毒ガス	海外の木をもらっている
安らかに眠って下さい。過ちは繰り返しませんから。	生き物と共存していく
私たちは考えなきゃいけない。それだけじゃない。	ふやしたい
戦争をなくす	木材の家具をふやす
違法処理（大久野島）	違法伐採
命の価値	人と森
一人一人の命の重さ	人も植物も大切に
原爆はたくさん失うが、何も生まない	地球の命を守る森林
毒ガス	木をつかうメリット
毒ガス（誰にも語っていけない）	海外（違法な木を使わない）
被害があること	木を扱うこと
伝えていく	持続可能に
再建した平和都市	森林と林業
戦争（二度とくり返してはいけない）	木材（他の構造物と比べても丈夫）
「過去の出来事」と片付けない	自国の木を利用する
毒ガス（図から消された島）	人工林の手入れ
毒ガス・原爆ドーム・慰霊碑	日本の木の価格・FSC 認証マーク
原爆の被害	森林の価値
一生忘れない後悔	どうにかすべき。どうすればいい？
平和について考え、行動する	FSC 認証を積極的に使い、世界に森林の抱える問題を発信する
私が忘れてしまえば済んでしまうことだった。（夕風の街桜の国より）	こんなに森林があるのに
目の前に見えていた建物が一瞬で白く吹き飛んだ	技術の進化
助けられない・想像できない	無知の悪事
たくさんの犠牲者の上に日本の平和は成り立っている	環境サイクル
中国の毒ガス	木造の建物に住みたい
辛い思い	日本はだんだん木が消えていっている
核兵器ではなく花を	森の恋人
今と昔（今と戦時中は無関係でない）	持続（地球環境の持続）